

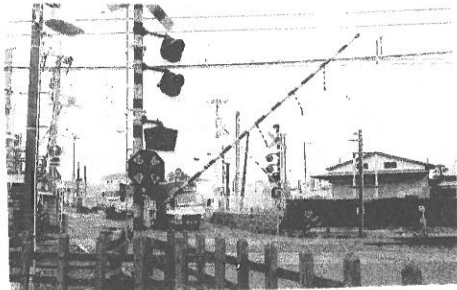
# “くぬぎやま踏切” 改良が必要！

—予算委員会—

今、くぬぎやま交差点から国道 464 号線がクロスする新京成線の踏切越えまでの間が“県の歩道整備事業”として事業展開されています（事業費 15 億円）。

踏切の 1 日の自動車の交通量は 11971 台、歩行者は 173 人で狭くて危ない踏切です。

このたび国土交通省が、事故や渋滞を減らすため改良が必要な踏切として 42 都道府県 529 か所を指定。2020 年までに対策を取るよう鉄道事業者と自治体に義務付けました。



千葉県は 17 か所。その一つが以前から問題提起し、県の工事として実行されている“くぬぎやま 1 号踏切”です。

この地点の改良は 15 億円の歩道拡幅事業の中で県が実施します。

踏切の改良設計はすでに新京成電鉄に委託してあるとのこと。歩道拡幅事業の中で優先的にくぬぎやま踏切 1 号機が改良されるということです。

安心して歩ける踏切に一日も早くなってほしいです。

《千葉県議会議員ふじしろ政夫質疑》